

ほけんだより 5月



令和8年5月1日
川崎市立南菅小学校
保健室 No.2.5

麻しん(はしか)に注意しましょう

最近、ニュースでも取り上げられるように、麻しん(はしか)の感染が広がっています。とても感染力が強いいため、生活の中でも注意が必要です。

麻しん(はしか)ってどんな病気?

はしかは、ウイルスによる感染症で、空気感染・飛沫感染・接触感染で広がります。感染力が強く、同じ空間にいただけでうつることもあります。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています。

主な症状

- ・38℃前後の発熱
 - ・咳、鼻水、目の充血
 - ・熱が一度下がったあと、再び高熱(39℃以上)
 - ・全身赤い発疹
 - ・下痢や食欲低下
- ※風邪や胃腸炎のような症状から始まることもあります。

麻しん(はしか)かなと思ったら

- ・医療機関に電話等で麻しん(はしか)の疑いがあることを伝え、それ以降は医療機関の指示に従ってください。
- ・医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

合併症

- ・中耳炎・肺炎・脳炎
- ※重症化する可能性もあるため注意が必要です。

予防のポイント

- ・予防接種が最も有効な予防方法です
- ※MRワクチンを2回接種することで、高い予防効果が得られます。手洗い・うがい、咳エチケットも大切ですが、完全に防ぐことは難しいです。体調が悪い時は無理に登校しないようにしましょう。



※保護者の方へ

- ・発熱や発疹がある場合は、無理に登校させず、早めに受診をお願い致します。
- ・風邪と思われる症状でも、ご家庭で様子をよく見ていただくようお願い致します。
- ・麻しん(はしか)と診断された場合は、出席停止となり、登校再開には医師の許可が必要です。
- ・感染拡大防止のため、医師の指示に従っていただくようお願い致します。
- ・お子さんの接種歴(MRワクチン)を母子手帳でご確認ください。

